清瀬 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴科 科目 世界史探究

教科：地歴科

科目：世界史探究

単位数：6 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組：大月

使用教科書：（ 世界史探究（山川出版社）

教科 地歴科

の目標

- 【知識及び技能】 通史としての完成を目指し、各単元ごとに確認テストを行い、実力の育成を図る。年度途中から問題演習を取り入れ知識をアウトプットできる力を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史の事象を単なる暗記とせず、歴史の法則性を地域時代登場人物が変化する中で同様の行動を行うことから推測し、歴史を先見の為に活用できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 各基本問題への取り組みから主体性を判断し、みんなができる状況を繰り返し学習で醸成する。先を予測する能力を身に着けることで人間性を育てることにつなげる

科目 世界史探究

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各定期考査を中心に知識を図り、先に行った考査範囲を以降の考査に加算して出題することでその場だけの知識とせず繰り返し学習を継続する。通史として完成させることで歴史の全体像をつかみ、時代ごと事象ごとの意味合いを考えさせる	単元ごとにその事象がどのような意味合いを持つのか。事象ごとに考えさせる。また、考えたことを発現させることで自ら考える力を育成し、個人としての判断力も高める。	各国史で学ぶと同時に周辺国との関係がどのような影響を及ぼしているかを理解させ、縦の歴史だけでなく、横の歴史を意識することで歴史に深みを持たせる。歴史的事象を理解することで他者への理解をもって人間性を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第13章産業革命と環太平洋革命 第14章英国の優位と欧米国民国家の形成 第15章帝国主義とアジアの民族運動 第16章 世界大戦と世界の変容	第1 3 章 ①海外貿易が近ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ②イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。 第1 4 章 ①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 第15章①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査 a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査	○	○	○	30
定期考査			○	○		1
第1 6 章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第2次世界大戦と新しい国際秩序	①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。 ④第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ⑤第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ③国民党が共産党に敗れた原因を多面的・多角的に考察し表現する。	a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査	○	○	○	38
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第18章 冷戦と第三世界の台頭</p> <p>第19章 冷戦の終結と今日の世界</p>	<p>①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。</p> <p>②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。</p> <p>④スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。</p> <p>②1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。</p> <p>④ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。</p> <p>⑤第三世界における開発独裁の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。①「紛争解決や共生」「経済格差の是正や経済発展」「科学技術の発展や文化の変容」といったテーマにおける課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。</p>	<p>a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査</p>	○	○	○	80
	<p>受験講座</p>	<p>受験対策</p>	<p>a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査</p>	○	○	○	60
3 学 期							合計
							210